

令和5年度

# 予算書

令和5年3月15日

## 資料目次

1 令和5年度予算編成について	-1・2-
2 収支予算書	
(1)収支予算書(正味財産増減予算書)	-3-
(2)収支予算内訳表(正味財産増減計算書内訳表)	-4-
(3)資金調達及び設備投資の見込みについて	-5-
3 事業計画書	
(1)令和5年度事業計画	-6・7・8・9-
(2)令和5年度「物品預託と払出」計画	-10-
(3)令和5年度「ボランティア活動」計画	-11-

公益社団法人 熊本善意銀行

## 令和5年度予算編成について

### —はじめに—

新型コロナウイルスの流行の波は「第8波」まで拡大し、県内の感染者数も52万人(2023年2月現在)に上っています。一方で、感染防止対策を取りながら経済活動や社会活動を維持していく「ウィズコロナ」の流れも徐々に定着しつつあります。また、関連死2人を含む67人が犠牲になった2020年7月豪雨や今年4月で発生から7年を迎える熊本地震では、引き続き被災者の生活再建が大きな課題になっています。さらに、ウクライナ情勢に円安ドル高が絡んだ食料品やエネルギーを中心とした物価高騰の影響も、私たちの暮らしを直撃しています。

こうした中、当行は令和5年度も引き続き、コロナ禍や物価高の影響を強く受けている障がい者や高齢者、ひとり親家庭をはじめ、7月豪雨や熊本地震の被災者などを支援している団体への助成を通して、元気な地域社会や福祉を取り戻していくお手伝いできればと考えています。熊本善意銀行は昭和38年に設立して本年、60周年の節目を迎えます。これまで運営できましたのも、ひとえに会員の皆さまをはじめ、預託者やボランティアの方々のご支援の賜物と、心より感謝申し上げます。今後も県民の皆さまからお預かりした善意の金銭、物品などを、支援を必要とされている方々につなぐ「善意の架け橋」としての役割を果たしてまいります。本年度も皆さまのさらなるご支援ご協力をお願い申し上げます。

### —概要と考え方—

熊本日日新聞社と地方経済総合研究所による県内企業の経営者意識調査では、23年の県内景気見通しについて、主要5業種のうち4業種で「良くなる」「やや良くなる」と改善を見込む割合が5割を超えました。台湾積体回路製造(TSMC)など半導体関連企業の集積やインバウンド(訪日客)回復を好材料に、改善が続くことを期待しています。

こうした中、当行の令和4年度の実収寄付金は、新たな預託者が増加するなどして、予算を上回る見込みです。経済活動と新型コロナウイルス対策の両立が大きな流れになっており、コロナ禍で手控えられていた消費の伸びも予測されますが、原材料高や新型コロナの動向など先行きが不透明な状況は今後も続きそうです。このため令和5年度は寄付金収入を前年度予算に対してほぼ同額にす

る予算とし、公益目的事業会計と法人会計を合算した総経常収益を23,200千円（前年度予算22,750千円）、前年度予算比102.0%としました。また、総経常費用は25,009千円（同24,015千円）で、前年予算比104.1%。総当期経常増減額は▲1,809千円（同▲1,265千円）です。

公益社団法人に求められる収支相償、公益事業比率、遊休財産保有制限の「財務3基準」を遵守し、より一層の安定的な運営を目指します。

地域に根差した社会福祉事業に取り組むため、法人会計と公益目的事業会計は以下のような予算にしました。

#### 《法人会計》

法人会計は熊本善意銀行の運営維持に必要な基本経費を賄う会計で、会員の皆様からの会費収入に支えられています。ただし、収入の半分を公益目的事業に充てるため、経常収益予算は8,200千円（前年度予算8,225千円）で前年度予算比99.7%にしました。

管理費は前期同様、費用を公益目的事業と法人事業に分配しました。支出合計は2,844千円（同2,890千円）で前年度予算比98.4%、当期経常増減額は5,356千円（同5,335千円）です。

#### 《公益目的事業会計》

公益目的事業会計は熊本善意銀行の社会福祉活動の根幹を表す会計で、収入は広く県民の方々から寄せられる「善意」の預託金です。これに会費収入の50%を加えて、経常収益予算は15,000千円（前年度予算14,525千円）とし、前年度予算比103.3%の予算にしました。

公益目的事業は従来の地域ボランティア活動支援や「小・中学校への車いす贈呈」、「100歳到達者の表彰」などをこれまで通り行っていきます。さらに障がい者福祉・児童福祉・高齢者福祉等の払い出し申請に基づく公益事業予算は、新聞・ラジオ・ホームページ等を活用して広く門戸を開き、ケースに応じて柔軟に対応していきたいと考えております。事業費は22,165千円（同21,125千円）で前年度予算比104.9%、当期経常増減額は▲7,165千円（同▲6,600千円）となり収入を上回る払い出しにしました。

令和5年度 収支予算書(正味財産増減予算書)

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位 千円)

科 目	当年度	前年度(予算)	増減	前年度比
I. 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
①受取会費	16,400	16,450	-50	99.7
②受取寄付金	6,800	6,300	500	107.9
③為替差益	0	0	0	
④雑収益	0	0	0	
経常収益計	23,200	22,750	450	102.0
(2) 経常費用				
事業費(公益)	22,165	21,125	1,040	104.9
管理費(法人)	2,844	2,890	-46	98.4
経常費用計	25,009	24,015	994	104.1
当期経常増減額	-1,809	-1,265	-544	143.0
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益	0	0	0	
経常外収益	0	0	0	
(2) 経常外費用	0	0	0	
経常外費用	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
他会計振替前当期一般正味財産増減額	-1,809	-1,265	-544	143.0
他会計振替額	-	-	-	
当期一般正味財産増減額	-1,809	-1,265	-544	143.0
一般正味財産期首残高	22,049	20,755	1,294	106.2
一般正味財産期末残高	20,240	19,490	750	103.8
II. 指定正味財産増減の部				
受取補助金等	0	0	0	
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	0	0	0	
指定正味財産期末残高	0	0	0	
III. 正味財産期末残高	20,240	19,490	750	103.8

※災害救援に関連する支出は、予算額を越えて執行することができる。

※一般正味財産期首残高の金額は予算策定時の推定値です。

令和5年度 収支予算内訳表(正味財産増減計算書内訳表)  
令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位 千円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引等 消去	合 計
I. 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 受取会費	8,200	8,200		16,400
受取会費	8,200	8,200		16,400
② 受取寄付金	6,800			6,800
受取寄付金	6,800			6,800
③ 為替差益	0	0		0
④ 雑収益	0	0		0
受取利息	0	0		0
経常収益計	15,000	8,200		23,200
(2) 経常費用				
事業費	22,165			22,165
役員報酬	299			299
給料手当	4,781			4,781
臨時雇用賃金	737			737
福利厚生費	233			233
旅費交通費	407			407
通信運搬費	604			604
消耗品費	580			580
印刷製本費	192			192
広告宣伝費	1,555			1,555
賃借料	921			921
会報発行費	484			484
支払助成金	5,368			5,368
障がい者福祉	1,107			1,107
児童福祉	3,091			3,091
災害見舞い助成	300			300
各種団体助成	870			870
チケット購入費	100			100
記念品購入費	2,292			2,292
新聞代・送料	371			371
車いす購入費	1,768			1,768
毛布購入費	479			479
減価償却費	831			831
為替差損	0			0
雑費	163			163
管理費		2,844		2,844
役員報酬		61		61
給料手当		979		979
臨時雇用賃金		151		151
福利厚生費		48		48
旅費交通費		83		83
通信運搬費		124		124
消耗品費		119		119
印刷製本費		30		30
広告宣伝費		318		318
賃借料		189		189
会報発行費		99		99
減価償却費		171		171
為替差損		0		0
雑費		472		472
経常費用計	22,165	2,844		25,009
当期経常増減額	-7,165	5,356		-1,809
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益	0	0		0
経常外収益	0	0		0
(2) 経常外費用	0	0		0
経常外費用	0	0		0
当期経常外増減額	0	0		0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	-7,165	5,356		-1,809
他会計振替額	-	-		-
当期一般正味財産増減額	-7,165	5,356		-1,809
一般正味財産期首残高	-	-		22,049
一般正味財産期末残高	-	-		20,240
II. 指定正味財産増減の部				
受取補助金等	0	0		0
当期指定正味財産増減額	0	0		0
指定正味財産期首残高	0	0		0
指定正味財産期末残高	0	0		0
III. 正味財産期末残高	-	-		20,240

## 資金調達及び設備投資の見込みについて

(1) 資金調達の見込みについて

令和5年4月1日から令和6年3月31日中に資金調達の予定はありません。

(2) 設備投資の見込みについて

設備投資の内容	支出予定額（税込み）	資金調達方法
設備投資の予定はありません		

# 令和5年度事業計画

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

令和5年度の事業計画は、前年度計画と同程度にしました。基本的な助成も例年通りの計画にし(1)障がい者や児童福祉、災害見舞助成、各種団体への助成(2)百歳を迎えたお年寄りや施設児童・交通遺児の進学・卒業祝い、小中学校への車いす寄贈など物品助成一などの中核事業を引き続き推進していきます。新型コロナウイルス感染拡大で見合わせている登録ボランティア団体の活動の橋渡しについては、収束状況や県のリスクレベル等を見極めながら再開時期を判断します。よりきめ細やかな社会福祉貢献のため引き続き「善銀パートナー」参加を推進し、サポート体制の強化を図ります。

広報面では事業の活発化と公平性を保つために、新聞とラジオのほかホームページをより充実させ、啓発活動に力を入れていきます。

## 1、[公益目的事業]

地域社会が直面する問題の改善を目的として、事業を行う団体・個人に金銭助成や物品支援を行います。

「事業内容」	「備考」
<p>助成事業：公1事業</p> <p>① 障がい者福祉助成 (1,107 千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 障がい者福祉施設等の製品販売促進へ助成</li> <li>・ 重症心身障がい児(者)クリスマス交流会へ助成</li> <li>・ ダウン症児(者)の夏季療育訓練などに助成</li> <li>・ 肢体不自由児の入学祝に助成 (50名分)</li> </ul> <p>② 児童福祉助成 (3,091 千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 児童福祉施設の夏季行事に助成 (727名 13施設)</li> <li>・ ひとり親家庭等の入学祝に助成 (190名分)</li> <li>・ 子ども食堂の食材購入などに助成</li> <li>・ 児童養護施設や里親家庭などの巣立ちプロジェクトへの助成</li> </ul> <p>③ 災害見舞助成 (300 千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 災害(火災・水害・地震等)に遭われた家族に見舞金を贈呈</li> </ul> <p>④ 各種団体の助成 (870 千円)</p> <p>ホームレス自立支援や熊本いのちの電話、2020年7月豪雨や熊本地震被災者の支援団体、その他申請のあった地域福祉団体へ助成</p>	<p>前年度予算より増額</p> <p>前年度予算より増額</p> <p>前年度予算より減額</p> <p>前年度予算より減額</p>

<p>物品助成：公1事業</p> <p>① チケット等配布（100千円）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者福祉施設、障がい者福祉施設などで日常生活を送られている方々やひとり親家庭の方々などに、楽しいひとときを過ごしてもらうためスポーツ観戦、寄席等の入場券を贈呈します。</li> </ul> <p>② 敬老の日 百歳到達者に記念品贈呈等：第43回（2,292千円）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県内の満百歳を迎える方々に記念品を贈って長寿をお祝いするとともに、千代の園酒造預託の清酒「百歳万歳」も贈呈予定です。本年の対象者は約1000名の見込みで熊日メディアコム、熊日物流販売・熊日各販売センターの協力を得て、敬老の日前後に自宅や入所施設などにお届けします。</li> </ul>	<p>前年度予算より減額</p> <p>前年度予算より増額</p>
<p>郷土紙提供（371千円）：公1事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・熊本県出身の青年海外協力隊員に郷土紙提供。（約20名）</li> </ul> <p>青年海外協力隊の要請により、世界各地の発展途上国で農業や技術、教育支援などを行っている県出身の隊員たちに、激励の気持ちを込めて郷土紙を「電子版」で提供します。</p> <p>※前年度は新型コロナ感染拡大のため、派遣は計9名でした。</p>	<p>前年度予算より増額</p>
<p>車いす贈呈（1,768千円）：公1事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障がいやけがなどで車いすが必要な児童・生徒に使用してもらうとともに、総合学習で福祉体験活動等を行う際にも利用するため、希望する小中学校に車いすを贈呈します。（40台）</li> </ul>	<p>前年度予算より増額</p>
<p>毛布・タオル贈呈（479千円）：公1事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県下の被災者へお見舞いとして毛布を贈呈</li> <li>・障がい者スポーツ大会等の参加賞としてタオルを贈呈</li> </ul>	<p>前年度予算より減額</p>
<p>広告宣伝（1,555千円）：公1事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人や団体、企業の社会貢献活動を啓発、啓蒙するとともに、公益活動への関心を高めるため、善銀パートナー制度などについて下記の媒体を使用し、活動内容を広く告知します。</li> <li>・新聞広告の掲載、熊本放送によるラジオでの呼び掛け</li> <li>・ホームページの充実、その他チラシなどの製作</li> </ul>	<p>前年度予算と同額</p>



## 2、[会務の運営]

総会、理事会、運営委員会等に関する事項

### ① 総会

- ・ 定時総会は、6月に開催。
- ・ 臨時総会は、必要に応じて開催。

### ② 理事会

- ・ 定時理事会は、4カ月を超える間隔で2回以上開催。
- ・ 臨時理事会は、定款14条のいずれかに該当する場合に開催。

### ③ 運営委員会

- ・ 運営委員会は、効果的な事業の推進を図ることを目的に、各種事業の整理・調整を行うため開催（年6回以上）。

### ④ 同種活動団体との連携

- ・ 全国善意銀行連絡協議会と情報交換を行い、活動の参考にします。  
※新型コロナウイルス感染拡大のため、総会、理事会などの会合や、預託者および役職員の表彰式は休止となりました。

## 3、[その他の事業]

### ① ボランティア団体等の拡充

現在、38の団体・個人に年間を通してボランティア奉仕活動を行っていただいております。約600人のボランティアがおられますが、新型コロナウイルス感染拡大で高齢者施設などの訪問が制限されているため、令和2年2月下旬から施設との仲介を見合わせています。再開後は引き続き、安全で安心なボランティア活動を行って頂くために、全国社会福祉協議会の「ボランティア活動保険」加入を推奨します。また、若手のボランティア登録の拡大にも努めます。

### ② 肢体不自由児デジタル写真展に共催

公益財団法人熊本県肢体不自由児協会が主催している「肢体不自由児デジタル写真展」を令和5年度も共催します。同写真展は県内の肢体不自由児を対象にデジタル写真を募集し、文化活動を促進するとともに、肢体不自由児に対する社会の

理解を啓発していくことを目的にしています。優秀作品に熊本善意銀行賞を授与し、特別支援学校やこども総合療育センター、希望する肢体不自由学級設置中学校などで巡回展示会を開催します。

③ 支援学校文化作品展の開催

支援学校の生徒の人格と個性を尊重し、可能性を最大限に伸ばせるように高校文化連盟特別支援学校専門部、一般財団法人熊本公德会とともに「支援学校文化作品展」を開催します。優秀作品に熊本善意銀行賞を授与します。

④ 障がい者福祉施設販売会（ほっと&ハートマーケット）の開催

一般財団法人熊本公德会とともに熊本市中央区上通町の「びふれす広場」で、障がい者福祉施設が作製している製品の販売会を実施します。年2回（計4日間）の開催を予定しており、参加する障がい者福祉施設は無料で広場を利用して、物品販売を行います。

⑤ 預託の拡充

企業、個人からの預託は、新聞・ラジオ（熊本放送ご協力による「善銀だより」）のほかにホームページでも見ることができます。ホームページをさらに充実させるなど多様な広報活動を行い、預託の拡充に努めます。新規会員の募集は前記媒体でのPRと、機関紙やチラシ等で勧誘を図っていきます。また、引き続きサポーター制度である「善銀パートナー」への参加を呼び掛け、寄付文化の醸成に努めます。

## 令和5年度「物品の預託と払出」計画

令和5年4月1日～令和6年3月31日

令和5年度の「物品の預託と払出」計画は前年度並みと考えております

(前年度実績参照)

預託者	品名	払出先
木下幸一さん	竹とんぼ570本	熊本天使園など8施設へ
九州ラーメン党	ラーメン300杯	広安愛児園など3施設へ
熊本城稲荷神社・高橋稲荷神社	御神饌25箱	若草児童学園など7施設・団体へ
(株)興農園	花の球根3492球	すずらんの里など10施設へ
コデラ	ランドセル19個	熊本県ひとり親家庭福祉協議会へ
中央ゴルフ(株)	おもちゃ・ジュース・米など305点	シオン園など11施設へ
千代の園酒造(株)	清酒「百歳万歳」938本	本年度の百歳到達者へ
(株)トライアンプ他12件	生活用品など26箱	天草園など12施設へ
堀口章さん他10件	玄米・米・もち米415 <sup>キロ</sup>	熊本県子ども食堂ネットワークなど22施設・団体へ
水琴タイムボランティア連合	CDブック15冊	つくしの里など7施設へ
山部広美さん	生花14束と16人分・野菜2箱	ゆめらいふ京町台など5施設へ
わくわく体操ボランティア協会他10件	未使用はがき・書き損じはがき766枚	交換・換金し福祉資金へ
松本緑さん他14件	未使用切手167397円分	交換・換金し福祉資金へ
預託者数136件(延べ228回)	使用済み切手40 <sup>キロ</sup>	換金し福祉資金へ

## 令和5年度「ボランティア活動」計画

令和5年4月1日～令和6年3月31日

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、施設訪問等のボランティアは令和2年2月下旬から仲介を見合わせています。再開については、収束状況や県のリスクレベル等を見極めながら判断する考えです。

(前年度実績参考)

奉仕する人・団体	ボランティアの種類	回数	奉仕先
田中知恵子さん	使用済み切手整理	19	換金のための仕分け作業
山村久子さん		4	
小林登志江さん		2	
匿名1名		2	
総計		27	